

あどRun太さん、竹花豊さんとともに「愛する若者たちへ」を合唱するBBS会員



山田BBS会

# 音楽通じて少年問題を考える

## チャリティー あなた 愛する若者たちへ あどRun太コンサート

山田BBS会（横田裕会長・会員五十一人）では、二月十九日に町中央公民館で広島市在住のシンガー・ソングライターあどRun太さん（五二）と、前広島県警本部長の竹花豊東京都副知事（五五）を招いてチャリティーコンサートを開催しました。会場には町民四百二十人が詰め掛け、あどさんの歌や竹花さんの講演を聞きながら少年非行や犯罪防止について考えました。

開会に先立ち、横田会長は「山田BBS会は四月に発足して以来、夜間パトロールや観光地の清掃奉仕など、いろいろな活動を行ってきました。今回のコンサートは、いじめや不登校に悩む子供たちを歌で勇気づけているあどさんが、わたしたちの活動に賛同し、暴走族や少年問題に取り組んでいる竹花さんをお誘ってくださり実現したものです。コンサートを通じて、少しでも悩みを抱えた少年やその家族の力になることを期待します」とあいさつしました。

竹花さんは、平成十三年から二年間、広島県警本部長として暴走族対策に力を入れた経験に基づき「地震や台風など自然につくられたものは避けられませんが、しかし社会でつくられた問題はかならず社会が解決できます。『警察、学校が駄目』『親が悪い』と愚痴を言っているのも何も変わりません。本気になっても変える気になれば、何でもできます」と強く訴えました。

山田中学校の「山中太鼓」の力強い演舞で幕が明け、竹花さんによる講演が行われました。竹花さんは、平成十三年から二年間、広島県警本部長として暴走族対策に力を入れた経験に基づき「地震や台風など自然につくられたものは避けられませんが、しかし社会でつくられた問題はかならず社会が解決できます。『警察、学校が駄目』『親が悪い』と愚痴を言っているのも何も変わりません。本気になっても変える気になれば、何でもできます」と強く訴えました。

少年問題について講演する竹花豊東京都副知事



山田中学校の「山中太鼓」の力強い演舞で幕が明け、竹花さんによる講演が行われました。竹花さんは、平成十三年から二年間、広島県警本部長として暴走族対策に力を入れた経験に基づき「地震や台風など自然につくられたものは避けられませんが、しかし社会でつくられた問題はかならず社会が解決できます。『警察、学校が駄目』『親が悪い』と愚痴を言っているのも何も変わりません。本気になっても変える気になれば、何でもできます」と強く訴えました。

## BBS会とは？

BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの略称です。その名のとおりに「兄」や「姉」のような身近な存在として、少年たちと一緒に遊んだり悩みの相談にのったりするなど、同じ目の高さで接しながら少年の健全やかな成長をお手伝いしている青年ボランティアです。全国に約6,200人のBBS会員があり、それぞれの地域で少年との交流を通じ、非行のない社会環境づくりのため、さまざまな活動を展開しています。

トークを交えてギター演奏しながら、悪性リンパ腫に倒れ、退院した日に涙を流してスイカを食べた経験をした「スイカ」や「笑おうよ！」を熱唱。BBS会員と一緒に「少年よ夢を持って！」を合唱した後、竹花さんも加わり、竹花さんとあどさんが作詞・作曲した「愛する若者たちへ」を全員で歌い上げました。最後に山田高校応援団から、あどさんと竹花さん、会場の皆さんに力強いエールが送られ、コンサートの幕を閉じました。十二月二十八日には、山田BBS会の齊藤秀喜事務局長が役場を訪れ、コンサートで集まった新潟県中越地震の災害義援金約九万二千円を日本赤十字社県支部山田分区分長の沼崎喜一町長に手渡しました。